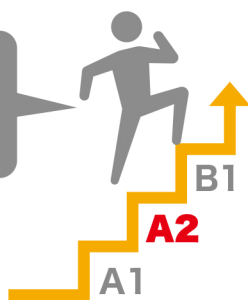


対象レベル

A2上位



A2上位、B1の回答例は「Speaking 発表」の9ページをご覧ください。

A2上位の特徴

身近なトピックに関して短い会話をすることができます。

B1の特徴

ある程度知見のある内容のトピックであれば、社会的な問題などの簡単なディスカッションをしたり、意見を言ったりすることができます。

活動の具体例

右のステップ1の例

**トピックを見せる** Some people think English should be taught starting from the first grade in elementary school. What do you think about this?

**教師が回答を例示** I agree with this opinion because learning a new language takes a long time. If English education started from the first grade, there would be more time and more opportunities for students to learn the language. Also, young learners are good at learning pronunciation, and this is not the case for older learners. So, starting early has another advantage.

**生徒に意見を聞く** What do you think about this?

**使える表現の紹介** “I agree with your opinion. It is because ...” / “I also think that ... It is because ...” / “I see your point, but I think...” / “I hear what you are saying, but I think...” / “You made a good point, but I have to disagree with you. I think...”

A2上位 → B1を目指すための指導案①

目標

簡単なディスカッションをしたり、意見を言ったりすることができる



目安時間

20分

準備物

袋/トピックカード(身近な問題)/タイマー/録音をするもの(可能であれば)  
トピック例: Schools shouldn't allow students to use their cell phones while at school.

ステップ

1

(全体)

- 初めにトピックを提示し、モデルとして教師が先に発表をする。
- 生徒に教師の発表内容に賛成か反対か、その理由を聞き、生徒の回答を板書する。
- この場面で使える表現をいくつか板書する。その表現を使って数人に教師の発表内容に対する意見を共有させる。



発表者への意見や質問が出てこない場合は、どんな質問ができるか例を見せる。

ステップ

2

(全体)

- 意見だけでなく、発表者にどんな質問ができるのかも聞き、出てきたアイデアを板書する。

ステップ

3

(グループ)

- 「発表」のA2上位(p10 ステップ1~3)で取り扱った指導案を行う。

ステップ

4

(グループ)

- 聞き手だったグループメンバーはステップ1や2で学んだことを踏まえて、発表者への意見と質問を考える。

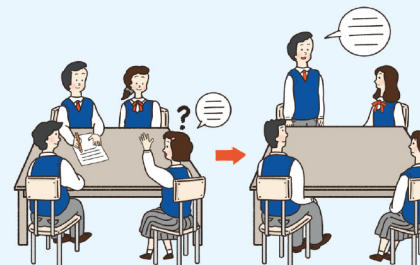
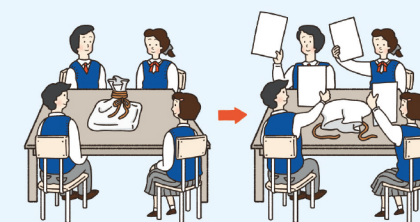
ステップ

5

(グループ)

- グループメンバーから発表者へ意見と質問をし、発表者はそれに答える。

ステップ3の活動の流れ



POINT

教師の関わり方: 英語の発話に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。ステップ1、2で板書された正しいものを見る、ステップ3で他の生徒の発言を聞くなどを通して、自発的に誤りの修正をする形を目指してください。